

令和 7 年度

事業報告

総会

第20回通常社員総会	
日時・場所	2025(令7)年5月18日(日) 10:03~11:35 場所: しいの実シアター
審議事項	・2024(令6)年度 事業報告、会費報告、決算報告の件 ・2025(令7)年度 事業計画、予算報告の件 役員改選の件

理事会

第1回理事会(通算125回)	
日時・場所	2025(令7)年5月10日(土) 14:55~17:25 場所: しいの実シアター
理事数	総理事数6名全員出席、監事1名 監事委任状1名
審議事項	・2024(令6)年度 事業報告、会費報告、決算報告承認の件 ・2025(令7)年度 事業計画、予算案承認の件、役員改選、役員報酬変更の件

第2回理事会(通算126回)	
日時・場所	2025(令7)年6月5日(木) 16:05~16:43 場所: しいの実シアター
理事数	総理事数6名のうち5名出席 委任状1名 監事2名出席
審議事項	・2025(令7)年度 予算案承認の件

第3回理事会(通算127回)	
日時・場所	・2025(令7)年12月3日(水) 16:00~17:45 場所: しいの実シアター
理事数	総理事数6名全員出席、監事2名全員出席
審議事項	・2025(令7)年度 役員報酬の支払いについて

他団体の事務局運営

八雲町地域振興活動団体交流会(やくもネット)	事務局とポータルサイトの運営
島根演劇ネット	島根県次世代育成事業の実施ととりまとめ

事業名	社会貢献事業 八雲小学校多目的室の床修繕活動
人員	長見好高、有田美由樹、来海優子
趣旨	不必要となったグレーのパンチを活用して、八雲小学校の多目的室床の張替えを実施した。
概要	2025(令7)年12月13日(土) 9:30~12:30
成果	校長先生は写真を撮ってください、月曜日には学校ホームページに掲載された。 全校の先生方からも感謝の気持ちをいただいた。

法人事業 表現・コミュニケーション能力育成事業

学校のワークショップでは、「コミュニケーション能力」以前の自己回復力・おりあいをつける力・我慢する力が弱くなり、大人から「幼い」と評価されてしまうところがある。保護者には子どもと向き合う時間の余裕がなく、子どもは甘えたい気持ちをおさえられないでいる。

社会では、若者の体験不足とスマホによって人との関わりが薄くなっているという状況大である。

小・中・大学		実施月日	対 象	受講者数
松江市	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R7/6、7、9、10	1.2.3年+支援学級 60分 ×2回	380名
	島根県立大学4年制 教育保育学科 1年生	R7/4/24	新入生	42名
	安来市立母里小学校	R7/6/13 7/11	全校生3組×2回	136名
県内	飯南町立頓原中学校 (次世代育成事業)	R7/6/30	1.2.3年 90分 2回	37名
	鹿足郡吉賀町立六日市中学校	R7/6/18, 9/18	全校生 100分× 2クラス×2回	84名
	益田市立益田東中学校1年	R7/7/4、12/1	1年2クラス 45分× 2回と50分×2回	128名

計 807

企業、地域、PTA、その他		実施月日	対 象	受講者数
松江市	松江市立第四中学校	R7/6/20	保護者と中学校教員	38名
	㈱さんびる 新入職員研修ワーク	R7/10/3	採用1.2.3年目職研修	17名
	どんぐり館ファミリーサークル	R7/6/14	小学生 土曜事業	21名
	どんぐり館 星キラMama(秋家集会所)	R7/9/10	在宅母子と高齢者	21名
	豊かなことばを育てる部会(松江市)	R7/12/10	松江市幼保園・こども園	13名
	八雲・東出雲 地域リーダー合同研修会	R8/1/18	東出雲と八雲中学生	38名
県内	㈱ 日新 新入社員研修ワーク	R7/4/1	新入社員+担当者	25名
	㈱ 日新 新入社員研修ワーク	R8/3/31	新入社員+担当者	24名
	保育士スキルアップ研修(東部)	R7/8/19	東部保育士(公・私)	38名
	保育士スキルアップ研修(西部)	R7/9/8	西部保育士(公・私)	11名
	島根県連合労働組合	R7/11/21	専従役員と書記研修	18名
	島根県女性会館	R7/11/28	男女共同参画交流会	23名
県外	公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館	R7/4/16	わらべ館職員	19名

計 306

＜2025(令7)年度 事業報告＞ 法人事業 **劇団公演事業**

令和7年度は、ゴーシュ公演を県内の2か所で上演し、公演回数**220回**を記録した。

事業名	「ゼロ弾きのゴーシュ」隠岐島文化会館 (217 回)	入場者数	353 名
趣 旨	(公財)隠岐の島町教育文化振興財団からの招聘により上演する		
事業概要	【日程】 2025 (令 7) 年 6 月 23 日 (月) 【会場】 隠岐島文化会館大ホール 【観客】 隠岐島中学生団体観劇 1 回		
事業成果	隠岐島後の西郷中、西郷南中、都万中、五箇中の 4 つの中学校を対象として実施した。3 年に 1 度の公演依頼を受けているが、これは、1 年から 3 年までの全中学生が観劇し、3 年後に次の全中学生に観劇させたい、という主催者の熱い思いによって実現した公演だった。財団の心温まる歓待に加えて、生徒の感想文は非常に深いところまで感じて書いたものであり、俳優・スタッフの心を強く打つものだった。		

事業名	「ゼロ弾きのゴーシュ」グラントワ公演 (218 回、219 回、220 回)	入場者数	987 名
趣 旨	(公財)しまね文化振興財団(島根県芸術文化センター)からの招聘により上演する。		
事業概要	【日程】 2025 (令 7) 年 10 月 5 日 (日) 一般公演 午後 200 名 6 日 (月) 学校団体公演 午前 388 名 午後 399 名 【会場】 島根県芸術文化センター グラントワ 小ホール		
事業成果	グラントワ開館 20 周年事業として初めて学校団体観劇を企画し、390 席の劇場が満席に。初演以来 220 回目を迎える公演となった。残念なことに劇場客席が縦長の音楽ホールであるため、前方の客席からは舞台が近く感動も大きいですが、最後列席周辺からは舞台が遠いため劇の中に入っていくことが難しく、客席前部で観劇した児童の「大変感動した」という感想文と、客席後部で観劇した生徒の感想文の違いは明らかだった。また、初めて演劇を観たというこどもがほとんどで、その点について理解度に大きな差を感じる公演であった。		



<2025（令7）年度 事業報告> 法人事業 誘客事業

事業名	しいの実シアターエコ活動 落ち葉を集めよう！	参加者数	19名
趣 旨	未来学校参加者を中心に家族連れの参加を募り、落ち葉集めの終了後焼き芋を楽しみ、シアターへの愛着を育てる。		
事業概要	【日程】 2025（令7）年12月7日（日）13時30分～16時 【会場】 しいの実シアター広場及び駐車場 【参加】 3歳から中1までの子ども8名、大人11名の合計19名が参加した。		
事業成果	毎年、未来学校に参加した子どもを対象に募集すると同窓会的な集まりとなって大好評であったが、今回はなぜか応募が極端に少なかった。そのため、急遽 SNS 等で広報して実施した。 当日は、参加した全員が時間を惜しんで働き、掃除道具を使いこなす工夫もしながら労働を楽しんでいた。子どもたちが汗を流して休憩もしないで労働している姿を見てスタッフ全員が感動するほどだった。		
改善策	未来学校生が減少したのは、労働の楽しさよりも同窓会的懐かしさを求めているからかもしれない。今回の参加者は、落ち葉から堆肥をつくるという自然の大切さを体験させたい保護者が集まり、その結果、子どもたちは落ち葉を踏み固める楽しさを味わい、初めて使う種々の道具を工夫しながら使いこなしていた。子どもたちが労働の楽しさを知り、劇場に愛着を覚えることは、森の劇場ならではの事業であり、次年度は、事業の目的趣旨をより明確にして募集していきたい。		



<2025（令7）年度 事業報告> 法人事業 物販事業

○しいの実シアター

指定管理事業、自主財源事業（誘客事業）で、グッズや地域産品等の販売を行った。

また、公式LINEアカウントにより入荷情報を発信して、物品販売も行った。

○かやぶき交流館

日常業務中だけでなく、貸館事業の来場者をも対象に、地元産品等の販売を行った。

<2025(令7)年度 事業報告> 松江市指定管理事業 **八雲林間劇場**

令和7年度は、「第8回 松江森の演劇祭」の開催年であるため、指定管理事業は、「未来学校」のみを実施し、「国内秀作公演」「幼児対象舞台公演」「海外秀作公演」の3事業は、国際演劇祭事業として実施した。

事業名	未来学校事業 しいの実シアター未来学校
趣旨目的	大人の指示・干渉のない中、初めて出会った子どもたちが意見を出し合いながら作品を選び、大道具・小道具、衣装を作って稽古をして舞台上で演じるという自主性と創造性を養う事業。
事業概要	【日程】劇あそび3日間コース 令和7(2025)年8月1日(金)～3日(日) 劇づくり4日間コース 令和7(2025)年8月8日(金)～11日(月) 【対象】小学生、中学生 【募集】劇あそび：20名程度、劇づくり：20名まで 【料金】劇あそびコース：5,000円(材料費、昼食代、保険料込) 劇づくりコース：8,000円(材料費、昼食代、保険料込) 【講師】劇あそび：田中小百合(NPO法人明るい生活理事長、ワークショップ講師) ：有田美由樹(俳優・ワークショップ講師) 劇づくり：市岡 洋(演出家・俳優・舞台美術家)
助 成	「2025年度日本郵便年賀寄付金助成金」
参加者数	劇あそびコース 27名 劇づくりコース 17名
事業成果	【劇あそび3日間コース】 本事業は開催から10年目を迎えた。回を重ねるごとに申込みが増え、今年度は受付開始日に定員を超えた。松江市内だけでなく、出雲、大東からの申し込みも増え、こどもの転校先の広島県呉市からの参加もあった。学校、学年、地域も異なる子どもたちが、初めて出会いすぐに仲良くなって、思いきり活動した。 【劇づくり4日間コース】 前年度に引き続いての参加が多く小4の女子児童が台本を作ってきたので、講師の市岡洋氏が一晩で潤色し、全員で一つの作品に取り組むことになった。そのため、演技の稽古に時間をとったことにより素晴らしい出来栄の作品に仕上がり、保護者らの感動を誘った。こどもたちの満足度も大変高いものであった。

貸館事業

7年度から劇場利用料が30%アップとなり、諸物価高騰の影響を受けて、利用減少となった。そういった事情の中で、「第8回松江・森の演劇祭」の4公演及び関連集会の貸館利用があった。

劇あそび 3 日間コース



劇づくり 4 日間コース



＜2025(令7)年度 事業報告＞松江市指定管理事業 かやぶき交流館

利用料金値上げの影響を受けて

4月から貸館利用料金が30%引き上げられ、一般利用者が激減した。特に、4月、5月の日程で予約されていた全館・全日利用の貸館が値上げを理由に急遽キャンセルとなったのは大きな痛手だった。そのほか、イベントや各種会合などで予算との折り合いが合わず断念された方も多数おられた。そのため、部屋や厨房を貸すだけでなく、料金引き上げに見合うように庭の手入れや裏山の整備などにも力を注いで、当館に対する好感度を上げて、来館者数を増やす努力に努めた。

秋期になって「松江・森の演劇祭」が開催されたので、それに伴う来館者数が増え年度後半には、全館イベントが2件あり多くの人が来館された。

＜施設利用（使用）者数＞

利用件数 94 件 利用者数 2,863 人

○主な利用と利用者数

・育英幼稚園	遠足 35 人
・みつき中央保育園	遠足 23 人
・しらとり保育所	観劇遠足 20 人
・ひらぎの保育園	観劇遠足 40 人
・KEI☆K マルシェ	170 人
・あったマルシェ	270 人
○自主事業	
・物販活動	93 人
・居酒屋誠	15 人

＜課題＞

かやぶき屋根の疲弊状況

茅葺屋根が全面苔生しており、四季を通して雨、風により落下する量が大幅に増加。前庭、東庭の白砂の掃除が大変である。冬の積雪時は、落雪と共に苔と茅が大量にちぎれ落下する。(特に北側屋根) 1回の落下で茅が5～10 cm短くなり屋根の厚みが減少している。

昨年の11月に玄関土間の上部天井、棟付近より雨漏りが発生している。夜間の突然の降雨の場合、養生に出勤することがあった。その雨漏りで梁、天井などに大きな影響が出られるので緊急の雨漏り箇所の点検、補修工事などの対策が必要である。

＜2025(令7)年度 事業報告＞ 松江・森の演劇祭 運営事業

2025(令7)年度は、「第8回松江・森の演劇祭」開催年のため、指定管理事業の「国内秀作公演」「幼児対象舞台公演」「海外秀作公演」の3公演は演劇祭事業に含めて上演した。

項 目	内 容	
主 催	松江・森の演劇祭実行委員会（市民・NPO法人あしぶえ・松江市）	
目 的	子どもたちから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れて、演劇の楽しさ・深さと感動を味わうことによって、明日への豊かな暮らしに繋がっていくことを目指す。そして、演劇祭を企画・運営するスタッフとクルーが、Bit by Bit の精神で演劇祭を長く続けることによって、ひとの力・まちの力が増して、松江のまちがく国際的で柔軟な感性が広がるまち・市民が誇れるまち>になることを目指す。	
会 期	2025(令7)年11月1日(土)～9日(日)	
会 場	上演	しいの実シアター、平原会館
	ワークショップ	八雲公民館2階
	マルシェ	平原農村公園、しいのみシアター上駐車場
	そば店	かやぶき交流館
	駐車場	① しいの実シアター50台 ②平原農村公園50台 ② 農地一時転用地ほか民地借用の駐車場70台 合計170台
料 金	しいの実公演：大人3,000円 こども同伴の大人1,500円 18歳以下1,000円 平原会館公演：大人2,000円 こども同伴の大人1,000円 18歳以下500円	

上演作品

会場	上演日	国名・集団名	作品名
しいの実	10/30(木)～10/31(金)	日本・むすび座 (保育園等団体公演)	ともだちや(2本立)
	11/1(土)	日本・ガベジ	GABEZ show ライブマンガ
	11/2(日)	フランス ポリーナ・ポリソヴァ	GO!
	11/3(月・祝)	イタリア・ロディージオ	幸せなおじいとおばあ
	11/6(木)～11/7(金)	イギリス・ピクルド・イメージ (学校団体公演)	ヤナと雪男
	11/8(土)	イギリス・ピクルド・イメージ	ヤナと雪男
	11/8(土)	米・グレゴの音楽一座	グレゴの音楽一座
平原会館	11/1(土)	日本・むすび座	ともだちや(2本立)
	11/2(日)	日本・ぶり&ブッチィー	ぶり&ブッチィー
	11/3(月・祝)	日本・人形芝居 燕屋	ねずみのすもう
八雲公民館	11/1(土)～11/3(月・祝)	Ton ton	木のおもちゃで遊ぼう！ 木育ひろば

【事業の成果】

◎会場減・上演日減・上演劇団減でも、来場者数は4600人！

前回のような200席の大型テント（設置費500万）の設置は中止し、上演劇団を3団体減とし、それに伴って開催日を1日減としたことにより、観客数2,373名、来場者数3,483名、当日ボランティア数延べ221名、総来場者数4604名となった。

これは、初回演劇祭（2000年）を下回る数字ではあったが、会場数減、上演日減・上演劇団減としては、大いに評価できる数字ではないか。

◎保育園児等の団体観劇は満席のためお断りも！

会期中に、市内保育園等の団体観劇が10園の予約で満席となり、2園にお断りをするようになった。市内保育園からの注目度が向上してきている。

◎小・中学校の団体観劇は今回も大好評！

松江市教育委員会との連携により、市内小・中学校の児童・生徒クラス全員で観劇し、

- ① 誰ひとりこぼれることなく、観劇を共有する楽しさを提供することができた。
- ② 経済格差に関係なく、平等に文化芸術に出合うチャンスを提供することができた。

◎海外作品を国内3劇場に呼び掛けて、ツアー公演を主動し経費減を図った！

過去2回招聘し大好評であったイギリスのピクルドイメージによる「ヤナと雪男」を、福島県白河市のコミネス、安来市のアルテピア、香川県東香川市のとらまる座へ呼びかけてしいの実シアターを含む4館による国内ツアーを実施し、渡航費用・荷物輸送の費用を大幅に抑えることができた。

他の3館共に海外作品を海外と直接交渉する体験は無かったので、すべて当実行委員会で仲介し、アルテピアととらまる座は通訳にも困っていたので派遣した。当実行委員会の長年の経験が大いに役立つことになった。

◎森の整備により来場者の満足度が高かった！

常日頃、劇場周りの広場や周辺環境を美しく整備してきたことにより、来場者からは観劇の楽しさだけでなく、秋の自然の中で開催される演劇祭に満足してもらうことができた。

◎ボランティアの豊かな経験則による無駄のない明るい運営が実現した！

過去の演劇祭と比べるとボランティア・クルーの参加人数は限られていたが、高校生の時から20年以上参加しているクルーたちは、40代になっても子どもを預けて参加し、子育てから手の離れた中高年の人たちは、夫や友人を誘って活動を継続している。こうしたクルーの人たちの頑張りにより無駄のない準備が進み、当日は、笑顔と明るい声かけで、多くの来場者から賛辞を受けたことを明記しておきたい。

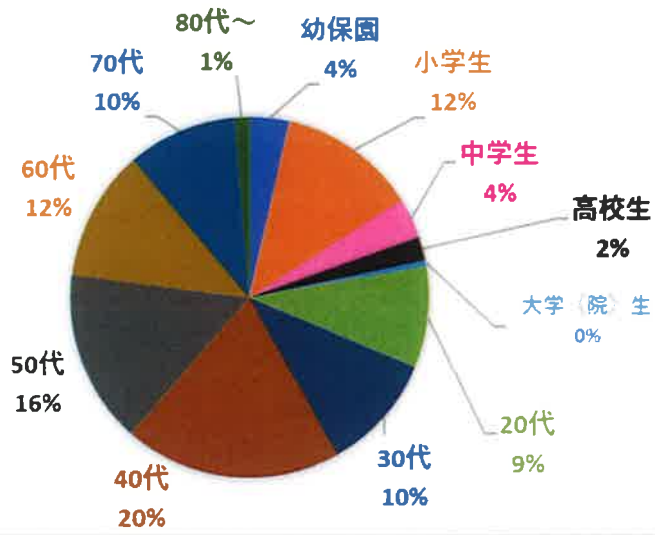
◎「木育ひろば」の今後の広がりが期待される

八雲公民館で行った「木育ひろば」は、松江市内では初回開催だったので、市民に広く知られていなかったが、回を重ねるごとに参加増は期待される。

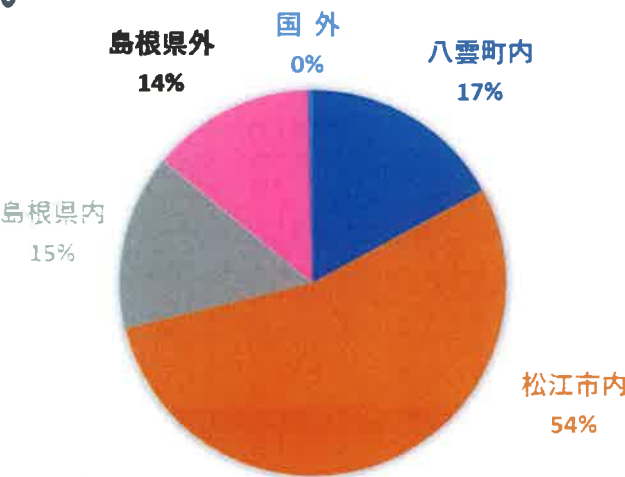


アンケート結果

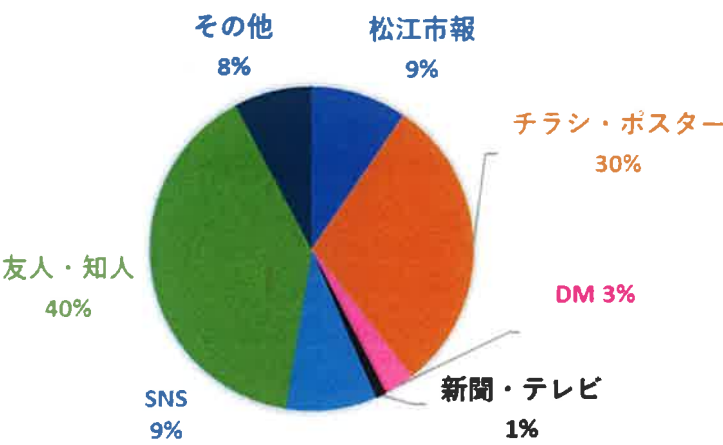
年代



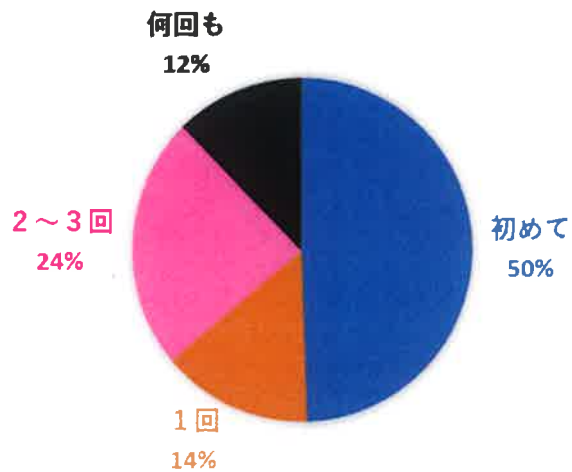
住まい



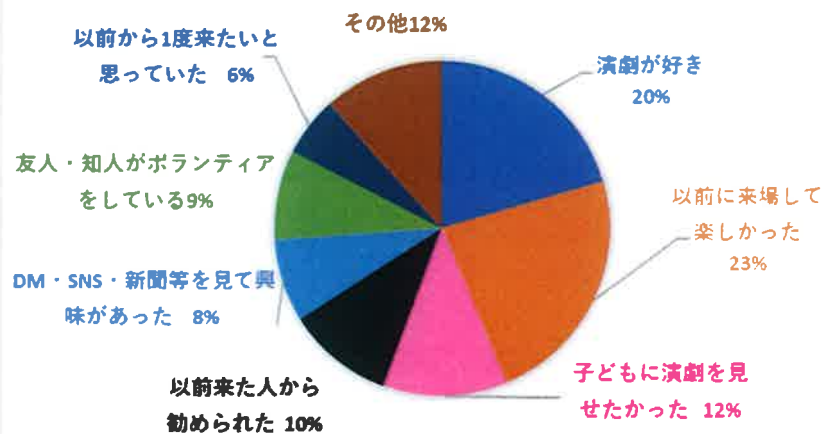
演劇祭を知った方法



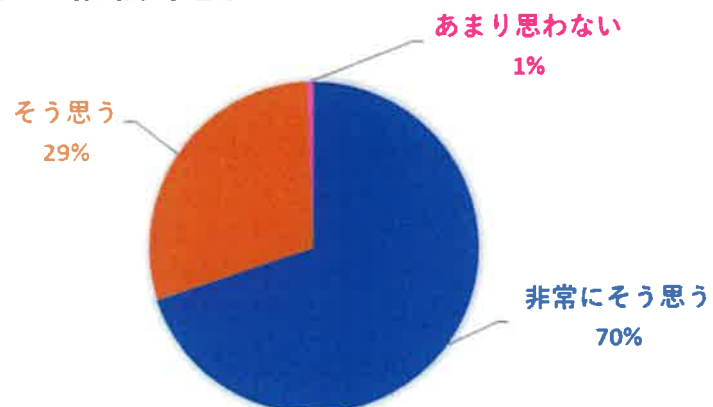
演劇祭来場回数



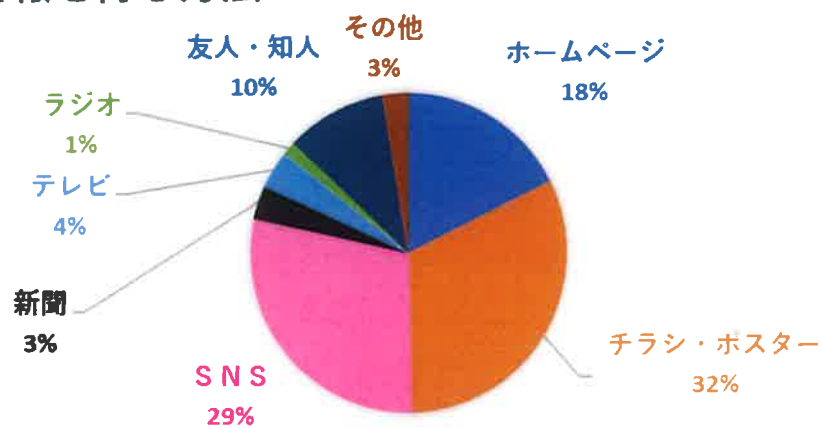
演劇祭に来ようと思った理由



演劇祭の継続希望



情報を得る方法



演劇祭全体を通して

